

事務事業	54	文化・観光施策の推進					
章	2	ともに学ぶ、文化とふれあいのあるまち					
大項目	02	個性ある地域文化づくり					
施策	01	地域文化活動の活性化					
事業内容							
目的	新宿のまちの魅力を高め、発信していくことで、新たに文化・観光という視点から地域の活性化を促進します。						
対象・手段	<p>地域文化発掘：区民の地域への愛着を深めるため、区民自らによる文化資源発掘を促進します。</p> <p>文化・観光ルートの整備：観光資源の発掘、地域・産業のブランド化を促すことにより産業振興を図るとともに、観光情報を積極的に発信します。また、安心して観光を楽しめるように、案内標識を設置します。</p> <p>文化・観光施策推進体制の整備：文化・観光施策の推進のため、区と関係機関の協働体制を整備します。</p>						
成果(事業が意図する成果)							
<p>区民が自分のまちの様々な文化資源を知ることにより、まちへの愛着と誇りを育みます。また、まちへの愛着と誇りを持って、まちづくりに関わり行動する中から、新たなまちの文化が生まれます。</p> <p>このような連鎖が新宿のまちの魅力と理解を深め、これまで以上に多くの人々を新宿区に引き付けることとなります。</p>							
事業成果指標							
指標名		定義			目標水準		
地域のお宝情報の提供件数		区民からの文化・観光資源の発掘情報の提供件数			(平成19年度) 200件の水準達成		
観光マップの利用者数		観光マップ(日本語版)を利用して区内を回遊する来街者の人数(年間)			(平成19年度) 35000人の水準達成		
新宿文化観光ビューローの機能とイメージ整理		「新宿区産業振興プラン策定会議」での新宿文化観光ビューローの在り方の検討とそのイメージの整理			(平成19年度) 整理の水準達成		
成果の達成状況							
		単位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備考
事業成果指標	目標値1	情報件数	0.00	200.00	200.00	200.00	
	実績1	情報件数	0.00	80.00	0.00	94.00	
	= /	%	0.00	40.00	0.00	47.00	
	目標値2	人	0.00	0.00	30,000.00	35,000.00	
	実績2	人	0.00	0.00	32,015.00	47,780.00	
	= /	%	0.00	0.00	106.72	136.51	
	目標値3	イメージ	0.00	0.00	0.00	1.00	
	実績3	イメージ	0.00	0.00	0.00	1.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	100.00	
事業の実施内容							
平成18年度	対象を歴史・文化資源等から地域のお宝へと拡げて地域文化の発掘を進めました。また、観光パンフレット・モバイルサイトや観光案内標識により広く情報発信するとともに、地域ブランドのコンセプトイメージ確立を図りました。更に、文化観光関連団体と、文化・観光施策の推進体制について意見を交換しました。						
平成19年度	地域のお宝発掘については、漱石生誕140年記念事業とも連携して発掘を進めました。また、観光マップには新たに四谷地域を加え、荒川線散策マップも作成し、モバイルサイト運営等とあわせて、広く観光情報を発信しました。更に、産業振興プラン策定の中で新宿文化観光ビューローの機能・イメージについて整理するとともに、観光施策推進協働委員会を設置し、文化・観光施策について調査検討を行いました。						

部名称		地域文化部		課名称		文化観光国際課	
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
トータルコスト	事業費	千円	0	9,297	22,664	4,489	
	人件費	千円	0	11,673	11,592	13,216	
	事務費	千円	0	0	0	0	
	減価償却費等	千円	0	0	0	0	
	総計 = + + +	千円	0	20,970	34,256	17,705	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	純計 = -	千円	0	20,970	34,256	17,705	
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
財源内訳	一般財源 = -	千円	0	18,996	16,406	17,705	
	特定財源		0	1,974	17,850	0	
	一般財源投入率 /	%	0.00	90.59	47.89	100.00	
職員	常勤職員	人	0.00	1.40	1.40	1.60	
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00	
事業に関する検討課題							
<p>地域文化の発掘：区民からの情報について、既知の文化資源に関するものが少なくなかったため、新たな発掘を促進する取組みが必要です。文化・観光ルートの整備：「ひと、まち、文化の交流が創るふれあいのあるまち」を実現するためには、観光情報の発信力を強化するとともに、来街者とのコミュニケーションを重視した観光案内制度の整備が必要です。文化・観光施策推進体制の整備：文化・観光施策を推進するために総合的に推進できる組織のあり方の検討が必要です。</p>							
評価基準に基づく評価と理由	達成度	2	地域のお宝の発掘は、情報数は十分ではありませんが、これまでに知られていない情報も提供されるようになりました。観光マップ利用者数は目標値を上回り、文化観光ビューローは予定していた機能とイメージを整理できました。				
	実施の成果	2	知られていない伝承の情報が寄せられたこと、観光マップを利用して区内を回遊した来街者の数や観光モバイルサイトのアクセス件数が順調に増えたこと、新宿文化観光ビューローのあるべき姿等を整理した等の成果を得ることができました。				
	効率性	2	区民、地域団体、民間業者、関係機関、区等の各主体が、それぞれ特徴を活かしてふさわしい役割を担った上で、連携して事業を実施しました。このことから、効率的な事業執行が図れたと言えます。				
	行政の関与	3	地域のお宝情報を効果的に共有化したり、知名度の低い観光資源を広く発信するためには、区の関与は必要です。また、文化観光施策を効果的・効率的に推進するためには、区民、地域団体、事業者、区等新宿区全体で推進する必要があります。				
	妥当性	3	地域のお宝情報の提供件数、区内を回遊する来街者数、文化観光ビューローの機能とイメージ整理という指標は、明確に数値化されたもので、かつ、文化・観光という視点から地域の活性化を促進するという目標に対しても、達成度を測る上で適切と言えます。				
	施策寄与度	2	3年間で、地域のお宝情報は目標値に足りませんでした。次第にユニークな情報が寄せられるようになり、観光マップ・モバイルサイトは目標を超える利用があり、文化観光ビューローもイメージが整理され、総合的に見て施策寄与はなされたことと判断できま				
総合評価	19年度は、地域のお宝情報について、これまでにない情報が寄せられ、観光マップは目標値を達成し、モバイルサイトにも5万件を上回るアクセスがある等、文化・観光情報の収集・発信にあたって、一定の成果が得られました。また、文化観光ビューローの機能とイメージを整理し、産業振興プランに反映することができました。地域のお宝情報こそ目標値に達しませんでした。概ね目標が達成できたものと評価しB評価とします。また、3年間では文化・観光情報の発掘・収集、広範な情報発信と来街者の誘致、総合的な文化・観光施策の推進体制の整備などの各施策について、それぞれ官民の役割分担と連携の下に、概ね目標どおり推進することができたことからB評価とします。						
	B						
改革方針	文化・観光情報の発掘・収集、広範な情報発信と来街者の誘致、総合的な文化・観光施策の推進体制の整備などの各施策について、施策間の連携を図ります。また、区内には、区民、地域団体、事業者、関係機関や区などがそれぞれ文化・観光施策を実施していますが、これらの多様で多彩な力を結び付け、新宿区全体で文化・観光施策を推進していくように、第一次実行計画「82新宿の魅力の発信」に引き継いで取り組んでいきます。						
	1						
現状のまま継続							